荷役５大災害防止対策チェックリスト

（荷主、配送先、元請事業者等用）

チェック欄記入方法　○：実施している　△：一部実施している　×：実施していない　－：該当なし

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 災害の種類 | チェック項目 | ○、△、×の記入 | 改善方針等（問題点とそれに対する改善方針、実施時期等を具体的に明記してください） |
| 共通事項 | 保護帽の着用 | 荷役作業を行っている陸運事業者の労働者が保護帽を着用していない場合、着用を呼びかけていますか（事前に陸運事業者との間で取り決め等をしておくことが望まれる）。 |  | 【記入例】・委託先の陸運事業者と設置している安全衛生協議会の○月の定例会合で、保護帽の確実な着用、荷主等の労働者、陸運事業者の労働者に拘わらず、荷役作業時に保護帽を着用していない労働者には注意する旨、申し合わせを行う。 |
| 墜落・転落災害 | 安全に作業できる設備の設置 | 荷主等が管理する施設において、プラットホーム（移動式のものを含む。）、墜落防止柵・安全ネット、荷台への昇降設備等の墜落・転落防止のための施設、設備を用意していますか。 |  | 【記入例】・委託先の陸運事業者と協議を行い、今年度中に施設整備計画を作成する。 |
| 荷主等が管理する施設において、タンクローリー上部に登って行う作業や荷台に積み上げた荷の上での作業等での墜落・転落災害を防止するため、施設側に安全帯取付設備（親綱、フック等）を設置していますか。 |  |  |
| 荷崩れ | 安全なパレットの提供 | 荷主等が用意したパレットについて、崩壊・倒壊、踏み抜き等のパレットの破損による労働災害を防止するため、パレットの破損状況を確認し、破損している場合は交換していますか。 |  | 【記入例】・定期的に確認するシステムとはなっていなかったので、毎日の始業前点検の確認項目に追加する。 |
| フォークリフト使用時 | 適切な資格者による運転 | 陸運事業者の労働者にフォークリフトを貸与する場合は、最大荷重に合った資格を有していることを確認していますか。 |  | 【記入例】・○月までにフォークリフトの貸与規定を作成し、鍵を貸し出す際は、資格を確認するようにする。 |
| 荷主等の労働者が運転するフォークリフトにより、陸運事業者の労働者が被災することを防止するため、荷主等の労働者にフォークリフトによる荷役作業に関し、必要な安全教育を行っていますか。 |  | 【記入例】・○月までに教育規定を整備し、安全なフォークリフトの使用に係る定期教育を導入する。 |
| 構内使用ルールの作成・掲示 | 荷主等の管理する施設において、構内におけるフォークリフト使用のルール（制限速度、安全通路等）を定め、労働者の見やすい場所に掲示していますか。 |  |  |
| 安全設備の設置等 | 荷主等の管理する施設において、構内制限速度の掲示、通路の死角部分へのミラー設置等を行うとともに、フォークリフトの運転者にこれらを周知していますか。 |  |  |
| 走行場所の区分 | 荷主等の管理する施設において、フォークリフトの走行場所と歩行通路を区分していますか。 |  |  |
| 無人暴走 | 降雪・凍結時の配慮 | 荷主等の管理する施設において、トラック停車場所に傾斜があり、降雪・凍結等によりトラックの滑走のおそれがある場合は、停車場所を変更するか、除雪を行うようにしていますか。 |  |  |
| トラック後退時 | 誘導員の配置 | 荷主等の管理する施設において、誘導員を配置し、トラックを安全に誘導するようにしていますか。 |  |  |
| 走行場所の区分 | 荷主等の管理する施設において、トラックの走行場所と歩行通路を区分していますか。 |  |  |

* 上記の事項のほか、荷役作業時に荷主、配送先、元請事業者等が陸運事業者に協力実施すべき総合的な実施事項が、「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」に定められています。本ガイドラインに基づき一層の取組をお願いします。詳しくは、以下ＨＰを参照されるか、最寄りの労働局、労働基準監督署にお尋ね下さい。

　http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/131017.pdf